

令和元年度日本大学学部連携研究推進シンポジウム

# 免疫と生殖の共進化

## 大野 乾 没後 20 年記念シンポジウム

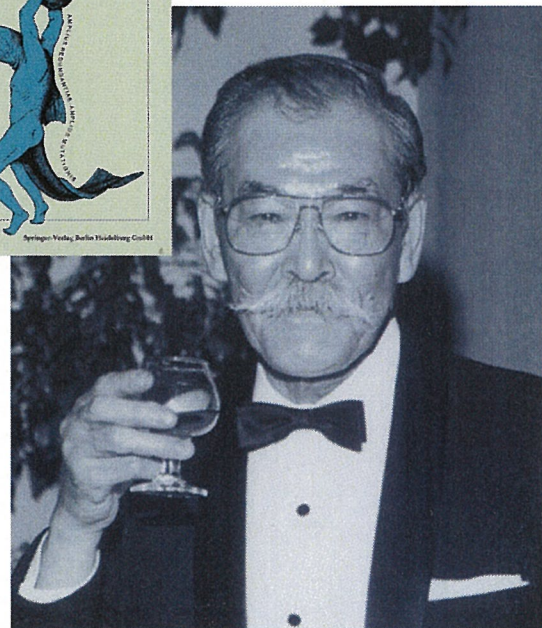
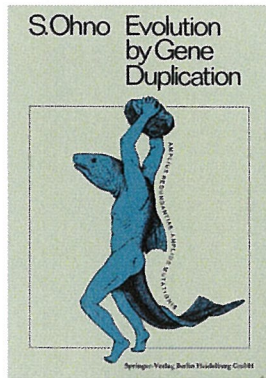
Special Symposium in Commemoration of Dr. Susumu Ohno 20 years following his passing:  
Evolution, Reproduction and Immune Recognition

2020年 3/12 (木)

9:00 ~ 17:10 受付 8:30~  
終了後情報交換会

3/13 (金)

9:30 ~ 16:00 受付 9:00~



大野 乾 Susumu Ohno  
1928-2000

日本大学桜門会館 (東京都千代田区五番町 2-6)

JR 中央線・総武線「市ヶ谷」駅下車 徒歩 2 分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅下車 3・4 番出口 徒歩 2 分

### 特別講演

Arthur Riggs

Marcia Miller

Andrei Rodin

五條堀 孝

森 望

相馬 廣明

荒木 慶彦

飯野 正光

Yoko Fujita-Yamaguchi

早川 智

我々はどこから来たのか。我々の子孫たちはどうなるのか。数万年数億年後の地球はどうなるのか。根源的な問いは、地球科学や生物学の進歩によってかなり明らかになってきた。基礎科学の進歩はこのような疑問に答えるのみならず、よりよい我々の生活に寄与している。

「知の巨人」であった故 大野 乾博士の思想と研究は 20 世紀後半の日本の生命科学の到達した高い水準を示すものであり、当時ポストドクから助手クラスであった若手研究者が現在、教授クラスとして各界で活躍している。何よりも発想の独自性と学問の自由を重んじた同博士の思想は現在も色あせていない。遺伝子重複による進化機構や、性染色体の進化、哺乳類性決定機構の解明、免疫システムの進化など、故大野 乾博士の研究領域は幅広く何度もノーベル賞候補になりながら惜しくも 2000 年に病を得て急逝された。没後 20 年となる 2020 年に、この 20 年間にこれらの巨人の仕事が弟子たちがいかに展開させたかを講演する。

どなたでもご参加いただけます  
事前申し込み不要・参加費無料



お問い合わせ 日本大学医学部微生物学分野 早川 智  
03-3972-8111 (内線 2261) hayakawa.satoshi@nihon-u.ac.jp